

今後の公民館活動について

新型コロナウイルス感染症の拡大で、波乱の幕開けとなった令和2年度。緊急事態宣言が解除になったとはいえ、現在も中津川市では感染症への予防対策に努めているところです。

蛭川においてもさまざまな分野にわたって大きな影響が出ていますが、公民館活動として例外ではありません。公民館講座やさまざまなイベントが止まったままで、皆様には多大なご心配やご迷惑をおかけしていますが、ご理解ご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。まだまだ流動的ですが、現時点での状況をお伝えします。



1 公民館講座

☆再募集及び開催の時期、講座内容の再計画化とも現時点では未定です。

☆今年度募集延期となってる講座は裏面に載せてあります。

☆募集延期以前にすでに申し込みされた方には、再募集の際、改めて公民館から確認をさせていただきます。

☆昨年度から行っている講座に、今年度から新たに参加していただくこともできます。気になる講座がありましたら公民館までお尋ねください。

☆蛭川公民館では、講座の他に、さまざまなサークルの活動が行われています。今後少しずつ紹介させていただきますが、こうした活動に興味や関心のある方がみえましたら、代表者や公民館までお問い合わせください。

2 公民館関連イベント（公民館主催・共催等）

(1) 芸能公演「田楽座」

昨年度未実施する予定でしたが、「延期」となっています。

(2) 歌舞伎（こども歌舞伎）

蛭子座のメインイベントです。今年度当初は、10月18日（日）実施予定となっています。



昨年のこども歌舞伎

(3) 映画「二宮金次郎」

中津川文化会館からのお届け公演です。8月に予定していましたが、文化会館の「ふれあい文化だより」5月号にあったように、延期して実施する予定です。この映画は、実は蛭川にも縁が深いために「お届け」されることになったものです。その理由を裏面に紹介していますのでご一読ください。

(4) スクランブルコンサート

恒例となったコンサートですが、実施については未定です。

(5) 蛭子座友の会関連

映画鑑賞会／講演会／音楽会（合唱）
実施については未定です。



※今後、状況によって変更があります。

☆映画「二宮金次郎」

(2019年公開作品)




↑ 小学校の記念学園にたたずむ
二宮金次郎の像「負薪読書図」

二宮金次郎は、これまでの封建社会の枠組みを覆すような独特のやり方で荒廃した村々を、『プロジェクトX』ばりに次々と復興させてゆきます。その数、なんと600以上。映画『二宮金次郎』は、貧しさと必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、青年時代、復興に賭ける輝ける二宮尊徳の激動の生涯をドラマチックに初めて映画化したものです。(映画のホームページより抜粋)

☆江戸時代の18世紀末から19世紀にかけて生きた二宮金次郎。その生き方、考え方は、多くの人々を共感の渦に巻き込み、やがてその「報徳」という思想が全国に広がっていきます。ここ蛭川でも、二宮金次郎の教えに共感した瀬瀬秋三郎が「安弘見報徳社」を立ち上げ、村づくり、人づくりに邁進していきます。「安弘見報徳社」は、やがて殿塚に報徳病院の建物となって昭和の時代まで残っていました。二宮金次郎は、今も神国教東の二宮神社に祀られています。

<募集延期となっている公民館講座>

【あじさい学級】 (高齢者学級)	【あそびの広場】 (乳幼児学級)	
【なんでも塾】 (小学生対象)	【文化・歴史 ・自然散歩】	
【蛭子座 子ども歌舞伎】	【にこにこ脳トレ】	【ウォーキングを 楽しむ】
【水彩画入門】	【わらわうり教室】	【健康麻雀】 (新規)
【古文書を学ぶ】 (新規)	【四季の飾り巻き寿司】 (新規)	【己書幸座】 (新規)

編集子



▽コロナ禍の中、公民館も閉じてしまいました。その公民館活動の中心にある「文化」の持つ役割を改めて考えさせられます。▽コロナ対策に協力し合い、感染拡大を防いできた蛭川(中津川)の民度もこころで築き上げてきた文化の一つといえるのではないかと思います。まだまだ安心してきないといえ、せめて明るい文化を共有していきたいと願わずにはいられません。▽さて、公民館担当が交替して最初の号を組みました。不慣れな点はご容赦いただくとともに、今後ともよろしく願います。慣れないことを行うということは、しかし、チャレンジすることにもなります。年度の途中からにはなりますが、そのときの状況に応じて、公民館では、いろいろな講座やイベントを用意しています。

皆様の新たなチャレンジをお待ちします。(續)

